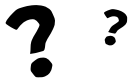


10代に聞きました!

横浜における青少年の文化活動に関する調査報告



「10代」はどんな文化活動をしている？ 放課後の施設や支援者の役割は？

世界に誇る芸術文化が営まれる横浜で、高校生などの青少年は、どのような文化活動を行っている、あるいはやってみたい、と思っているのでしょうか。今どきのメディアを活用した活動も気になります。

また、青少年に関わる施設・事業や行政、活動支援者には何が求められるでしょう。

公益財団法人よこはまユースの運営する青少年交流・活動支援スペース（さくらびんぐ）と高校内居場所カフェ（ようこそカフェ）で出会った10代後半の17名の皆さまに、リアルな活動内容と「思い」をうかがい、現状把握を試みました。

■調査概要

(1) 調査の目的：「10代」の文化活動の理解が必要な理由

青少年の成長に、自由で主体的な文化活動と、活動を支える教育環境は不可欠です。しかし、高校は課程や科目が多様な上、学校外の活動、特に芸術文化活動は実態が見えづらく、青少年対象の施設・事業は市町村により様々です。この調査は、10代後半の青少年の実際の活動、また行いたい活動は何か、施設・事業や行政等ができることについて、理解を深めることを目的とします。

本調査で扱う「文化活動」は、優勝や「プロ」を目指す活動や、月謝を払う習い事でなくても、気軽に親しむ活動や学校に関する活動を含みます。インターネットや「スマホ」等が普及した今日は、新たな活動のスタイルも生まれています。数値での把握が難しい活動実態と青少年の「思い」の理解に努め、施設や行政、支援者が何を行えるかを考える基礎資料となることを願い、調査を行いました。

(2) 調査の方法：調査票とヒアリングを併用し、一人ひとりにじっくり聞きました!

調査方法は、調査票とヒアリングを併用しました。「声がけ日」に施設にいた高校生等に説明し、同意を得た者に対して日程を決めて行いました。事前説明を含め一人当たり1時間程度です。

説明書及び調査票で示した調査項目は、主に次の4項目です。

1. 現在している／やってみたい活動
2. 施設・事業の利用状況（頻度、内容、理由等）
3. 文化活動の実施状況／施設・事業の役割
4. 文化活動の目的／イメージ

2019年3月より横浜市こども青少年局青少年育成課、よこはまユース事業企画課と打合せを行い、よこはまユースの運営する次の施設／事業で、10代後半の17名を対象に、6-11月に実施しました。

- ① [さくらびんぐ] 青少年交流・活動支援スペース（横浜市中区）
- ② [ようこそカフェ] 横浜市立横浜総合高等学校 校内居場所カフェ（横浜南区）

調査名は「横浜市における青少年の文化活動に関する調査研究」で、(a) 研究代表者：梨本加菜、(b) 調査者：公益財団法人よこはまユース、研究協力者：梨本加菜 の2つで構成されます。いずれも、鎌倉女子大学学術研究所の倫理審査で承認されました（鎌倫-19004、19007）。

横浜市こども青少年局青少年育成課（2019）「中高生の放課後の過ごし方や体験活動に関するアンケート調査」と、文部科学省（2017）「平成28年度子供の学習費調査」を参考にしました。

■調査結果の概要

(1)「現在している／やってみたい」活動とは？

本調査は下表のとおり文化活動を、音楽、芸術・美術、スポーツ、教養・その他 の4つに分け、20 細目を設定しました。17 名には、20 項目で ①現在している、②やってみたい、A) 部活、B) 習い事 に該当するものに○を付けてもらい、詳細を聞きました。

表： 調査票で示した「文化活動」の4分類 20 項目

音楽	ア	楽器[種類:]演奏
	イ	声楽、合唱[(あれば)種類:]
	ウ	音楽鑑賞(コンサート、ライブなど)
	エ	その他[]
芸術・美術	オ	制作[種類:](油彩、イラストなど)
	カ	演劇[(あれば)種類:]
	キ	ダンス[(あれば)種類:]
	ク	芸術鑑賞(美術館・博物館訪問、観劇など)
	ケ	その他[]
スポーツ	コ	スポーツ[種目:]
	サ	野外活動、旅行(登山、キャンプなど)
	シ	スポーツ観戦[(あれば)種目:]
	ス	その他[]
教養・その他	セ	習字、そろばん
	ソ	図書館、学校図書室 訪問
	タ	PC かスマホ、タブレットを使うゲーム、音楽、動画視聴
	チ	PC かスマホ、タブレットを使うゲーム、音楽、動画制作
	ツ	囲碁・将棋、ボードゲーム・カードゲーム
	テ	料理、工作[(あれば)種類:]
	ト	その他[]

(a) 音楽 について

ピアノ、ギター、管楽器をやる・やった者が多く、バンドは3名います。3名がギターを弾きたいと答え、2名は管楽器をしたいが部活は入らないと話しました。

5名が歌を歌います。学園祭でバンド演奏した者、友人とエレキギターを弾く者の他、DTM(作曲)は1名です。ライブをしたいと思う者は複数います。

学校内の友人の公演に行く者は複数います。学校外の公演に複数回行く者は3名で、行きたい者には、「高額」、「抽選」がネックとなっています。

(b) 芸術・美術 について

制作は2名のみ挙げました。演劇は数名が挙げ、授業や部活でミュージカルを演じた者もいます。ダンスは5名がやっています。

博物館を複数回訪れた者は3名でした。美術館については、1名が「行きたいと思った時に一人で行く」と答え、3名が「関心がない」と話しました。

(c) スポーツ について

テニス、サッカー、卓球、バスケは複数がやっている、観戦すると答えました。やりたいと答える者も複数います。

旅行やキャンプに行くも複数います。

(d) 教養・その他 について

ほとんどがスマホ等で音楽、動画を視聴しており、制作する者も数名います。カード／ボードゲームは人気でした。



(2) 文化活動の特徴と多様な活動内容

(a) 学校のユニークな授業や学校行事、部活動の影響が大きい

- 高校の「音楽」で合唱をしていて人気がある。ミュージカル「プリキユア」をやることになり、約 20 人で歌って踊り、後ろでダンス部やバトン部が踊った。闘う場面を演じた。衣装も揃えた。
- 高校の「習字」を選択した。現在はペンと紙を使い、「一筆書き」をやっている。
- 高校の選択授業で日本舞踊やソルフェージュがある。工業高校の工学系の授業も選択できた。

(b) 活動のきっかけとして、家族の影響を挙げる者が多い

- 小学生の時に親に連れられ地域の卓球教室に行った。高校は卓球部だが、現在も教室に通っている。「目的が上」の人が多い、自分のやりたい練習をしている。祖父は大きな大会の経験者。
- ギター、ピアノで弾き語りをしている。親が音楽好きで、1990 年代ソングを教えてもらった。
- 親と一緒に年 10 本ほど好きな映画に行く。洋画のみで、最近「ジョーカー」を観た。

(c) 学校外の活動や、今どきの情報技術を活用した活動が広がっている

- 高校で Web 小説の投稿を始めた。一話ずつ投稿し、1,000 回以上「ビュー」あって励みになった。
- 俳句・短歌を書き溜めて応募し、入賞作もある。将来は文章に関わる仕事をしたいと考える。
- 何人かとステージで、ボーカロイドやアイドルの曲を歌っている。収入は無いけど楽しい。地元のシンガーソングライターのライブは行く。ステージに俳優の卵がいて、演劇もやってみたいと思う。
- 中学生の時に関西のバス車両の LED 表示器に「はまった」ため再現画像を制作した。現在はバスのシミュレータをサイトで制作・公開し、北関東にも行く。SNS をとおして大人のサークルに誘われ、ラグビー場の臨時輸送用の 200 台のバスのシミュレーションをすることとなり、現地調査に行った。
- 大学の「謎解きイベント」のサークルで、企業とのコラボがある。デバッグをやらせてもらえる。

(d) 外国に関わる活動や留学、旅行、関心のある者もいる

- 兄弟がカナダに滞在しており、アメリカやアジアにも行くので、旅行で合流したい。高校では中国語の授業を選択し、将来は通訳の仕事をしたい。「中国語が文化活動」と考えている。
- テーブルスポーツ「サブテオ」でシンガポールの世界大会に出た。学外のクラブを立ち上げ、活動中。
- ボランティアのガイドをするサークルを立ち上げた。渋谷で看板を持って立ち、英語等で対応する。

(e) 経済面や学校のルールによる活動の制約、また挑戦にともなう失敗も見られる

- キリスト教の学校で日曜に礼拝があるため、部活で行う競技の大会に参加できない。
- ダンス同好会で、学外施設で練習する。オーディションをやっているので部活には出来ない。
- 演劇同好会を立ち上げ、脚本を作ってコミカルな昔話を演じ、観客が 3 名だった。広告が課題。
- 文豪系のゲーム・コンテンツに関わる俳優のライブに行く。抽選が良く当たり、幕張や埼玉にも行ったが、お小遣いに制約がある。ゲームのし過ぎが親に心配され、夏休みはキャンプに行く。

(f) 芸術・美術の制作や美術館訪問を挙げた者は少ないが、関連した活動が見られる

- フォントの美しさに関心があり、街の看板の字体を再現する。自分の字体コレクションをもつ。
- カードゲームの好きな「キャラ」のカードを入れるケースを作り、友人にプレゼントしている。
- 数名でアニメ動画を制作しようと曲と脚本、絵コンテを作ったが、アニメーション作りで頓挫した。

(g) 施設のイベントや家庭で「料理」に触れ、継続・発展させる者もいる

- コンビニで炊き込みご飯の素を購入し、炊飯器で作るイベントがあった。自分たちで作った。
- 親が地方赴任中、三人兄弟で料理を作る。趣味でチョコクッキー、バイクドチーズケーキ等作る。
- 「家庭料理」と回答。親か自分か先に帰る方がご飯を作る。鶏クリーム煮が得意で褒められる。

■さくらリビング／ようこそカフェの利用状況と要望

(1) さくらリビング／ようこそカフェの利用状況

- さくらリビングは、月1日の休日と年末年始以外は開設されており、調査対象の11名のほとんどが週2日以上来ていました。高校の定期試験や学校行事の前は、頻繁に来る者も複数いました。目的は、友だちと話す、自習がほとんどでした。ダンスの練習（部屋の予約）は3名いました。
- さくらリビングは、ボードゲーム「カタン」が人気でした。一方で、やり過ぎる、騒がしい、と感じる者も。
- ようこそカフェの開設日は学期内の週1日で、調査対象の6名は、ほぼ毎回来ていました。目的は、友だちと話すがほとんどで、授業や部活の合間に来ます。「人が多い」、「違うクラスや地域の人とうまくコミュニケーションできる」、「スタッフと話せる」、「食事がおいしい」等を挙げる者もいました。

(2) 放課後の施設や支援者に求めること

- ほとんどがスタッフに気軽に話せる・話したいと答えました。世間話や、ギター、ゲームの話ができる、大学生は「すぐ近くの未来を教えてもらえる」等の理由です。一方で「進路は高校の担任に話す」、「趣味は話さない」、「専門が詳しくない」、「学校の授業みたいにしたくない」という声も。
- 友人との交流と自習が、施設利用の主な目的です。他校生徒や異世代との交流を拒む者はいません。
- 「広い机、Wi-Fi 環境、無料」であること、「周囲の人が同じ「生徒」という安心感が重要です。
- さくらリビングでのクレープ作りや「さくり祭」、また青少年委員の活動等、自分で企画する魅力を挙げた者が複数いました。チラシを見てイベントやボランティア活動に関心を持つ者もいます。
- さくらリビングは研修室でダンス等の練習、打合せができますが、スタジオや体育施設、図書室、工作室を希望する者がいます。公共施設が遠方、大人が多い等で利用しづらい様子です。
- さくらリビングの前身の横浜市青少年センター（ふりーふらっと野毛山）の経験者が2名いました。「スタッフやおじいちゃん（利用者）と卓球、バドミントン、バスケをしたり、ロビーでゲームをしたりした。行くだけで新しいこと、学校と違うことができた。「ふりふら」みたいな施設がほしい」とのことです。

■まとめに代えて：文化活動を支えるために何ができるか？

- 17名は多彩な活動を行っていますが、調査票の「音楽や美術などの文化活動は？」という質問は、ほとんどが白紙でした。「難しそう」、「帰宅部」、「取り柄が無い」と答えた者もいます。学校の内外やネット上、また家庭での活動内容に自信をもってほしいし、大人が理解を深めることも必要と思われます。
- 文化活動は、高校の影響が大きい様子です。部活だけでなく音楽等のユニークな授業や、友人との関わりから、演奏、制作等の活動、同好会を立ち上げる活動が、高校の場で展開されています。
- 10代後半は、お金と時間の制約があります。また学校により、部活は高2までだったり、ネットでの活動公開やアルバイトが禁止されたりする場合があります、活動内容・方法の制約も課題です。「今どき」の音楽やスポーツ、制作が気軽に、安価に、安心して、また発展してできる環境が求められます。
- 17名には、文化活動のイメージ図を描いてもらいました。今回は紹介できなくて残念ですが、将来は、文化活動と仕事が近接する見通しの者、趣味として仕事とは別と考える者に大別されます。生涯にわたって文化活動に親しみ、それが当たり前だという意識をもっていただければ嬉しいです。

(鎌倉女子大学・梨本加菜)